

スタートアップ関連イベント企画・実施計画策定等業務

質問・回答

	質問事項	回答
1	イベント企画とイベント開催に向けた事前準備とあるが、本事業の契約期間が2025年3月末まで、イベント開催がその後の2025年9月となっている。本事業に含まれる費用の中に会場費や登壇者への謝金、2025年4月～9月に実施するような広報・プロモーションの経費(例: SNS 広告掲載費など)も含まれるのか。	業務委託料は契約期間中における仕様書に記載の業務に対するものであり、受託者に対して2025年9月のイベント実施に関する経費(会場費、登壇者への謝金、2025年4月～9月に実施する広報・プロモーションにかかる経費等)の負担を求めるものではありません。
2	広告協賛にKPIなどはあるか。また、これまでに大阪産業局のイベントなどに協賛した企業のリストなどを受領することは可能か。	広告協賛に関するKPIは設定しておりません。協賛等の実績に関する企業リストについては、契約締結後に業務遂行にあたっての参考資料としてお渡しすることは可能です。
3	イベント実施の際にどの程度の予算を想定しているか。	現時点において、イベント実施にかかる予算規模として定まったものではありません。本業務において検討を進める企画や実施計画の内容、各種協賛の獲得見通し等を踏まえて、予算規模を固めていくこととしています。
4	基本計画の費用1,100万円(税込)に含まれる内容については下記認識で相違ないか。 ・テーマ、コンセプトの規定 ・イベント実施計画の策定(コンテンツ企画、招待ゲストの選定、タイムライン作成、会場図面作成など) ・広報・プロモーション計画の策定(PRや集客プロモーション企画) ・想定進行スケジュールの作成 ・コンセプトビジュアルの制作	委託業務としてお示しの内容が含まれるとの認識に相違はございません。なお、これらに加え、仕様書に記載の広報・プロモーションにかかる一部実施業務(統一コンセプトの作成やキービジュアル等のデザイン及び制作実施)やイベント開催に向けた事前準備業務(実行委員会の運営補助、関係機関・企業等との協議・調整の補助など)等を含みますのでご注意ください。
5	これまでHACK OSAKAを取り組まれてきた中で大阪産業局が感じている課題は何か。	大阪・関西万博開催の好機をとらえ、海外を含めた域内外からスタートアップや投資家、事業会社、将来を担う若手人材などの来場者をより多く呼び込み、スタートアップの成長加速に向けた機会創出や大阪・関西のスタートアップ・エコシステムの存在感の向上等に大きく寄与する効果的かつインパクトのあるイベントとしていくことが必要と考えています。
6	過去実施してきた中で集客効果を高めた施策があれば教えてほしい。	プレスリリース配信やDM配信、SNS投稿での集客が中心となっています。

7	これまで集客施策については、イベント実施のどのくらい前から開始されていたのか。	来場者の集客は、2~3カ月前より開始しています。
8	過去実施してきた中で企業マッチングを促進した施策があれば教えてほしい。	スタートアップ企業のサービス・製品展示やピッチ、VCとのマッチング会などを実施しています。